

## 要 旨

### 試験委託者

環境省

### 表 題

p-Phenylenediamine のオオミジンコ (*Daphnia magna*) に対する急性遊泳阻害試験

### 試験番号

第 1 3 0 5 2 号

### 試験方法

本試験は、OECD 化学品テストガイドライン No. 202「ミジンコ類，急性遊泳阻害試験及び繁殖試験」(1984 年)に準拠して実施した。

- 1) 被験物質：p-Phenylenediamine
- 2) 暴露方式：半止水式(24 時間後全量換水)
- 3) 試験生物：オオミジンコ (*Daphnia magna*)
- 4) 暴露期間：48 時間
- 5) 試験濃度(設定値)：  
対照区，0.22，0.32，0.46，0.68，1.0，1.5 及び 2.2 mg/l  
公比；1.5
- 6) 試験生物数：20 頭/試験区(5 頭 4 連)
- 7) 試験水量：100 ml/1 連
- 8) 試験水温：20±1 °C
- 9) 照 明：16 時間明期
- 10) 給 餌：無給餌
- 11) 希 釈 水：水道水(茨城県つくば市)を脱塩素したもの
- 12) 試験水の pH：pH の調整は行わない
- 13) 分 析 法：高速液体クロマトグラフ法

## 結 果

### 1) 試験水中の被験物質濃度

被験物質濃度が設定値の±20 %を超えたため、各影響濃度の算出には実測濃度を採用した。

### 2) 24 時間暴露後の結果

50 %遊泳阻害濃度( $EC_{50}$ ) : 0.58 mg/l (95 %信頼限界 : 0.52~0.65 mg/l, Probit 法)

最大無作用濃度( $NOEC$ ) : 0.26 mg/l

100 %阻害最低濃度 : 1.2 mg/l

### 3) 48 時間暴露後の結果

50 %遊泳阻害濃度( $EC_{50}$ ) : 0.33 mg/l (95 %信頼限界 : 0.29~0.37 mg/l, Probit 法)

最大無作用濃度( $NOEC$ ) : 0.12 mg/l

100 %阻害最低濃度 : 0.54 mg/l